

厳しい夏・冬環境下にある旧小学校校舎で暮らす高校生に快適な環境を

広島県立加計高校芸北分校 男子寄宿舎の断熱改修ワークショップに多角的支援

企業版ふるさと納税、内窓の特別価格での提供、プロの工務店ネットワーク活用で貢献

YKK AP 株式会社（本社：東京都千代田区、社長：魚津 彰）は、北広島町公衆衛生推進協議会（以下、北広島町公衛協）および広島県地球温暖化防止活動推進センター（以下、脱温暖化センターひろしま）が主催する広島県立加計高等学校 芸北分校（以下、芸北分校）の男子寄宿舎の断熱改修ワークショップ（8 月 28 日開催）の趣旨に深く賛同し、「資金支援」「資材協力」「工務店ネットワーク活用」の 3 つのアプローチによる多角的なサポートを実施したことを、お知らせします。



断熱改修（内窓設置、断熱材充填）の前【左】と後【右】



ワークショップ中の様子

内窓の枠の取り付け【左】、内窓の障子の吊り込み【中央】、断熱材の施工【右】

芸北分校の男子寄宿舎“雄学館”がある広島県北広島町は、周囲に多くのスキー場を抱える豪雪・極寒の地域でありながら、夏には最高気温で 38.7℃（※1）を記録するなど、非常に厳しい気候環境にあります。旧小学校の校舎を活用したこの寄宿舎では、断熱性能が低いことが課題でした。夏場は、スポットクーラー（※2）を使用しても窓の隙間から大量の虫が侵入し、排水処理にも大きな負担がかかっていました。一方冬場は、給油制限のあるボイラーに頼らざるを得ず、灯油が切れると室内で洗濯物が凍りつくなど生徒たちにとって過酷な環境が続いていました。これらの課題に対し、北広島町公衛協および脱温暖化センターひろしまは、断熱改修を実施するだけでなく、その機会を学びの場にするためにワークショップを開催することにしました。しかし、限られた予算の中で必要資材費の確保や、当日のワークショップの円滑な運営に懸念がありました。そこで、ワークショップの委託先である一般社団法人 Forward to 1985 energy life（※3）ひろしまの理事である株式会社プレゼントデザインの川端 順也氏が関係各所に呼びかけました。当社はこの「地域一体となって生徒の生活環境を改善する」という主体的な取り組みに賛同し、多角的な支援を実施しました。

YKK AP は支援の方法として、企業版ふるさと納税を活用した寄付、ワークショップで実際に取り付ける樹脂製内窓「ウチリモ」の特別価格での提供を実施しました。さらに、YKK AP が事務局を務める「性能向上リノベの会（※4）」のプラットフォームを通じて、会員企業に本プロジェクトへのボランティア参加を広く周知し、呼びかけに応じた同会の会員企業 2 社が、当日のサポートとして参画しました。

本ワークショップの計画にあたっては、実際に寄宿舍で暮らし、学んでいる「当事者」である高校生たちと事前に話し合いを重ねました。その結果、一番の困りごとである『夏に静かで涼しい勉強場所がない』『冬に洗濯物が凍る、隙間風が入る』という課題を解決するため、現在使われていない部屋を年中快適に過ごせる『自習室』と『物干しエリア』に改修することが決まりました。

当日は寄宿生を含む芸北分校の生徒 21 名が参加し、ボランティアで参画した工務店のサポートのもと、高校生自らが壁への断熱材の取り付けや、内窓の設置に挑戦しました。参加した生徒からは「断熱材をつけるのとつけないのでは部屋の温度が違うことを知れた」「今回の取り組みを通して芸北の厳しい環境でも快適に過ごせるようになればいいなと思った」といった声が聞かれました。生徒たちにとって、住まいの断熱性能と省エネ、快適性の関係を、身をもって学ぶ実践的なアクティブラーニングの機会となりました。

YKK AP は今後も、持続可能な地域社会の実現と、未来を担う学生たちの快適な学習・住環境の整備を目指し、地域やパートナー企業と連携して、主体的な社会貢献活動を推進してまいります。

【参考情報】

■リフォーム用樹脂製内窓「ウチリモ」

内窓とは、今ある窓の内側にもう一つ取り付けて「二重窓」にするための窓のことです。熱がもっとも流入・流出する窓に断熱性の高い「内窓」を設置すると、室温の上昇を抑え、冷暖房効率が向上するため、夏は涼しく冬は暖かい快適な住環境をつくれます。熱中症のリスクを抑えるほか、節電により電気代の削減にもつながります。



「ウチリモ」商品ページはこちら： <https://www.ykkap.co.jp/consumer/products/window/uchiremo>

※1:気象庁アメダス大朝観測所の観測データより参照。過去最高気温は1994年7月17日および2024年8月16日に観測。

※2:室外機一体型の移動式冷房機器。使用時は窓から排熱ダクトを出す必要があり、窓の隙間から虫が侵入する原因となっていました。

※3:2011年の東日本大震災・福島第一原発事故をきっかけに設立された一般社団法人。脱原発・地域の省エネ化を背景に、家庭部門でのエネルギーおよび電力消費量を1985年当時のレベル（当時の約半分）まで削減することを目標に掲げる。「我慢の省エネ」ではなく「賢く楽しく暮らす省エネ」を掲げ、パッシブデザインをはじめとする省エネ住宅の普及や、環境家計簿などを通じた暮らしの省エネアクション（1985アクション）を推進している。

※4:全国の住宅事業者を対象に、中古戸建住宅リノベーションの活性化を目的として、2021年10月に発足。外気変化の影響を最小化する断熱性能と、建物の骨格となる構造補強による耐震性能を向上する手段やノウハウを共有し、技術的な支援から、プロモーションまで、中古戸建住宅の性能向上リノベーション事業の拡大を支援しています。2026年7月時点、会員数は約700社。

性能向上リノベの会 ウェブサイト： <https://pireno.ykkap.co.jp/>